

平成 30 年度 学校全体で育成する資質・能力のルーブリック

校番 033 府中 高等学校

尺度	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
【知識・技能】 知識・技能	<p>○個別の事象の基礎的・基本的な知識・技能について理解できる。</p>	<p>○基礎基本となる知識や技能を身につけている。</p> <p>○個別の事象に係る知識・技能について、部分的に活用できる。</p>	<p>○基礎基本となる知識や技能を身につけ、課題解決に生かすことができる。</p> <p>○個別の事象に係る知識・技能を統合して活用できる。</p>	<p>○基礎基本となる知識や技能を身につけ、それらを応用して課題解決に生かすことができる。</p> <p>○知識を概念化して捉えることで他の場面に活用したり、技能を自在に活用したりできる。</p>
【思考力・判断力・表現力等】 読解力	<p>○テーマに直接関係するデータを収集、整理することができる。</p> <p>○文章についての概要を理解することができる。</p>	<p>○必要な情報・データを収集、整理することができる。</p> <p>○文章を正確に読み取ることができる。</p>	<p>○必要な情報・データを限られた時間の中で収集し、優先順位を付けることができる。</p> <p>○文章を正確に読み取り、主張を把握することができる。</p>	<p>○必要な情報・データを限られた時間の中で収集し、価値や意義を判断・説明できる。</p> <p>○筆者の主張等を簡潔にまとめて、価値や意義を説明できる。</p>

別紙様式 1

<p>【思考力・判断力・表現力等】 論理的思考力</p>	<p>○データの主題・要素等が理解できる。</p> <p>○複数の意見や情報のつながりを見出せる。</p> <p>○根拠となる事実を1つは挙げられる。</p>	<p>○データを分析し、分かることや問題点を列挙することができる。</p> <p>○情報の連関や構造を把握できる。</p> <p>○複数の意見や情報があるときに、似たもの・異なるものを分類することができる。</p> <p>○物事をある一面から考察することができ、根拠を持った説明ができる。</p>	<p>○比較等を用いてデータを分析し、課題を明確にし、一定の妥当性のある結論を導くことができる。</p> <p>○情報の連関や構造を把握し、筋道立てて考えることができる。</p> <p>○複数の情報について分類し、その分類の良し悪しを判断し、必要に応じて新たな視点で分類できる。</p> <p>○複数の側面から根拠となる事実を挙げ、対比等しながら考察できる。</p>	<p>○適切な分析方法を使いながらデータを分析し、課題の本質を見極めるとともに、新たな課題を見出すことができる。</p> <p>○情報の連関や構造を把握し、筋道立てて考え、自分の考えを構築することができる。</p> <p>○分類した情報について、その優位性について評価することができる。</p> <p>○逆の立場の意見等を踏まえながら考察し、複数の根拠とその論拠をもとに説明できる。</p>
<p>【思考力・判断力・表現力等】 場面把握力</p>	<p>○周りの状況や自分の役割を理解できる。</p>	<p>○周りの状況や自分の役割を理解して、行動・発言することができる。</p>	<p>○場面・周りの状況に応じて、自分の役割を的確に務め、適切に対応できる。</p> <p>○自分の置かれている状況から、今やるべきことを把握して行動できる。</p>	<p>○場面・周りの状況に応じて、自分の役割を的確に務め、適切に対応できるとともに、周りに良い効果を与えることができる。</p> <p>○現状を改善する視点を有し、先のことを予測し、今すべきことを把握して行動できる。</p>

別紙様式 1

<p>【思考力・判断力・表現力等】 表現力（説得力）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○表現すべき内容を列挙できる。 ○伝えたいことを文章で表現できる。 ○態度を整え、相手に向けて発表できる。 ○相手に聞こえる声で、まとまりのある文章として述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の要素を用いて、成果物に上げることができる。 ○伝えたいことを相手にわかりやすい形（言葉の言い換え、絵等）で表現できる。 ○効果的に伝えられる方法や相手のことを意識して発表できる。 ○目的を意識して伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の要素を統合して、成果物とするとともに、表現の仕方を工夫することができる。 ○伝えたいことを相手にわかりやすいように根拠に基づいて順序立てて表現できる。 ○相手や場面、目的、意図に応じて、相応しい態度だけでなくパフォーマンスなどの工夫ができる。 ○目的を明確に捉え、相手を意識して伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の要素を統合して、効果的な方法で成果物を創り上げるとともに、説得力のある表現に表すことができる。 ○伝えるときに、最も効果的な方法を選択し、根拠に基づいて相手に分かりやすく表現できる。 ○相手や場面、目的、意図に応じて、相応しい態度だけでなく臨機応変にパフォーマンスなどの工夫ができる。 ○目的を明確に捉え、相手を意識して分かりやすくまとめて、工夫をしながら伝えることができる。
------------------------------------	--	---	--	---

別紙様式 1

<p>【学びに向かう力・人間性等】 学びを生かす</p>	<p>○課題だと言われたことに対して課題意識を持つことができる。</p>	<p>○課題の解決に向け、取り組もうとする。</p>	<p>○課題の発見・解決に向け、物事に主体的に取り組もうとする。 ○自己の課題の解決に向けて、新しい方法やより良い方法を追究できる。</p>	<p>○課題の発見・解決に向け、物事に当事者意識をもって取り組もうとする。 ○社会における課題について、自己の課題とのつながりを見出して取り組もうとする。</p>
<p>【学びに向かう力・人間性等】 協働</p>	<p>○自分に分担されたことができる。 ○自分とは異なる考え方を聞くことができる。</p>	<p>○小集団の中で、自分の役割を見出し、分担してすべきことができる。 ○自分とは異なる考え方を理解することができる。</p>	<p>○他者や集団との関わりの中で、自分の役割を見出し、他者等に貢献しようとする。 ○自分の考え方と自分とは異なる考え方を比較することができる。</p>	<p>○他者や集団との関わりの中で、自分の役割を見出し、社会に貢献しようとする。 ○自分の考え方と自分とは異なる考え方を比較し、それぞれの良さを見出している。</p>
<p>【学びに向かう力・人間性等】 学びの継続</p>	<p>○学習の仕方や進め方を振り返り、説明することができる。 ○目標を立てることができる。</p>	<p>○学習の仕方や進め方を振り返り、将来の学習や生活に生かそうとする。 ○目標や計画を立てることができる。</p>	<p>○学習の仕方や進め方を省察し、現在及び将来の学習や生活に生かそうとする。 ○目標や計画を立て、実行している。</p>	<p>○学習の仕方や進め方について、検証、省察し、現在及び将来の学習や生活に生かそうとする。 ○具体的な目標や計画を立て、継続的に実行している。</p>

※「資質・能力①」、「資質・能力②」、「資質・能力③」には、具体的な資質・能力を記入すること。

※必要に応じて、表の行を増やすこと。